

就任のご挨拶



建築設備士の法制化実現へ

— 組織の強化に全力投入 —

(社)建築設備技術者協会九州支部沖縄会
会長 石川勇作

沖縄県設備設計事務所協会の会員の皆様におかれては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

私共(社)建築設備技術者協会九州支部沖縄会は、昭和64年建設省告示第1527号に基づき、建築設備士の資格を取得した設備技術者の集まりであります。

周知のように、建築設計業務において年々設備の比重が高くなり、とくに電気設備、空調設備、衛生設備、コンピュータシステム及び情報通信等で高度な技術が要求されるようになっていきます。つまり、これまでは一級建築士の免許を取得することで、設備の分野がすべて網羅されていたが、昨今の設備関連の技術はめざましく進歩・向上し、且つ複雑化、多様化の一途を辿っているのが実情であり、従来の一級建築士の技術では対応できない面が多々出てきております。そこで重要になったのが、設備設計の専門的知識を持った『建築設備士』の資格の創設であります。そうした設備専門資格者による全国的組織が(社)建築設備技術者協会であり、その下部組織として九州支部沖縄会があります。

沖縄会は平成2年3月16日に設立され、すでに10年余が経過しましたが、この間、初代会長に仲田寿治氏(機設備研究所社長)が就任、2代会長に松川清次氏(㈱松川設備設計)、そして今年度の総会で役員改選が行われ、私が3代会長に推挙され、就任することになり、その責任の重さを痛感しているところであります。幸い、私の補佐役となる副会長に行政面のベテランである志喜屋一陽氏と同喜友名朝英氏が選任されましたことは、今後の活動に大きな力になると期待感を深めております。

私共沖縄会の当面の事業目標として、①建築設備士の法制化の実現、②設備設計の分離発注の促進、③会員の技術の研鑽と資質の向上の3本柱を掲げ、組織が一体となって全力を上げたいと決意を新たにしているところであります。ご承知のように、沖縄県設備設計事務所協会と私共の沖縄会は同じ目標を持った車の両輪の関係にありますので、お互いの組織が今後共に深い絆のもとに協力し合い、同時に今後増大していく社会的役割と責務を再認識し、目標達成に向けて頑張りたいとおもいます。

最後になりましたが、沖縄県設備設計事務所協会の限りないご発展と会員の皆様のご健勝を祈念し、新任会長のご挨拶に代えさせていただきます。

(石川電気工事㈱代表取締役社長)

